

「ケース教材の試運転」の開催について

拝啓、立春の候、ますますご清栄のことと存じます。日頃から、本学の大学院教育・研究にご協力いただきましてありがとうございます。

下記の通り、「ケース教材の試運転」を開催しますので、是非ご参加いただきますようご案内申し上げます。

今回は、本学大学院社会福祉学専攻（通信課程）の院生が作成した2ケースを試運転します。通信課程の院生のケースは力作揃いです。そのため、今年も数回に分けて試運転をする予定です。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

敬具

記

1)目的

- ①ケースの試運転を通して、ケース教材とティーチングノートブラッシュアップする。
- ②討論の運営方法を学ぶ。

2)日 時:2019年3月1日(金) 19:00~21:30(受付:18:30)

3)場 所:日本福祉大学名古屋キャンパス北館 5階

4)タイムスケジュール

19:00-19:05	あいさつ、オリエンテーション
19:05-20:05	ケース試運転（ケース①）
20:15-21:15	ケース試運転（ケース②）（ケース教材の内容や討論の運営方法に関する意見交換をします）
21:15-21:30	フィードバック、まとめ

5)使用するケース教材

- ①「児童養護施設『あずま園』主任今井のジレンマ」
- ②「教員である前に『人』としてあるべき姿は・・・介護教育の現場から～」

※ケース教材は、試運転後回収します。

6)内容と進め方

ケースは討論型授業で使用されることにより始めてその価値が発生します。ケースは授業で使用する前に、試してみることが重要になります。これを「ケース教材の試運転」といいます。試運転では、ケースが学びを促進させるツールとなっているかどうか、開発者の意図した通りに展開するかどうかを確認します。さらに、ディスカッションリーダーの経験や討論に協力することで、討論の運営方法を学びます。

意見交換では、ティーチングノートを公開し、次の4点について意見交換をします。

- ①ケース開発者の教育主題、討論のねらい
- ②参加者からみたケースの討議のしやすさ、難しさ
- ③ディスカッションリーダーからみた討論のしやすさ、難しさ
- ④討論の運営方法

7)事前準備

申し込みされた方には、試運転で使用するケース教材&課題シート（2ケース分）を、2019年2月下旬を目途にメール配信いたします。事前にケース教材を読んだ上で、ご参加ください。

8)参加申し込み方法

準備の都合上、試運転の参加を希望される方は2月23日(土)までに、以下の項目を明記のうえ、大学院事務室宛にE-Mailにてご連絡ください。

- 1) お名前
- 2) 連絡先 [電話番号・E-Mail アドレス]

<参加申込先メールアドレス>

gp-event@ml.n-fukushi.ac.jp（全て半角小文字、“-”はハイフン）

日本福祉大学大学院事務室

【問い合わせ先】

日本福祉大学 大学院事務室（担当：牧野、酒井）

電話番号：052-242-3050

E-Mail：gp-event@ml.n-fukushi.ac.jp

以上